

2025年基準改定について①

- ・消費者物価指数の基準年を、2020年から**2025年に改定**（2026年8月）
- ・大阪府ホームページに掲載の**過去のデータを新指数**（2025年＝100）に切替え

【参考：基準改定の主な内容（全国）】

基準年の改定

- 👉 消費構造の変化に合わせ、5年ごとに基準年（指数を100とする年）を改定（2020年→2025年）

品目の改定

- 👉 消費の重要度の変化等に応じて品目を改定（582品目→589品目（注1））

追加品目	塩さば、グミ、プロテインパウダー、カーリース、通信教育 など（計19品目）
------	---------------------------------------

廃止品目	煮干し、ビデオソフトレンタル料、青汁、女性用帯、ネクタイ など（計11品目）
------	--

ウェイトの改定

- 👉 品目別ウェイト（消費支出に占める各品目の支出割合）を更新

ウェイト増加品目	普通乗用車、大学授業料（国立・私立）、専修学校授業料、うるち米 など
----------	------------------------------------

ウェイト減少品目	民営家賃、保育所保育料、携帯電話機、通信料（携帯電話）、ルームエアコンなど
----------	---------------------------------------

算式の改定

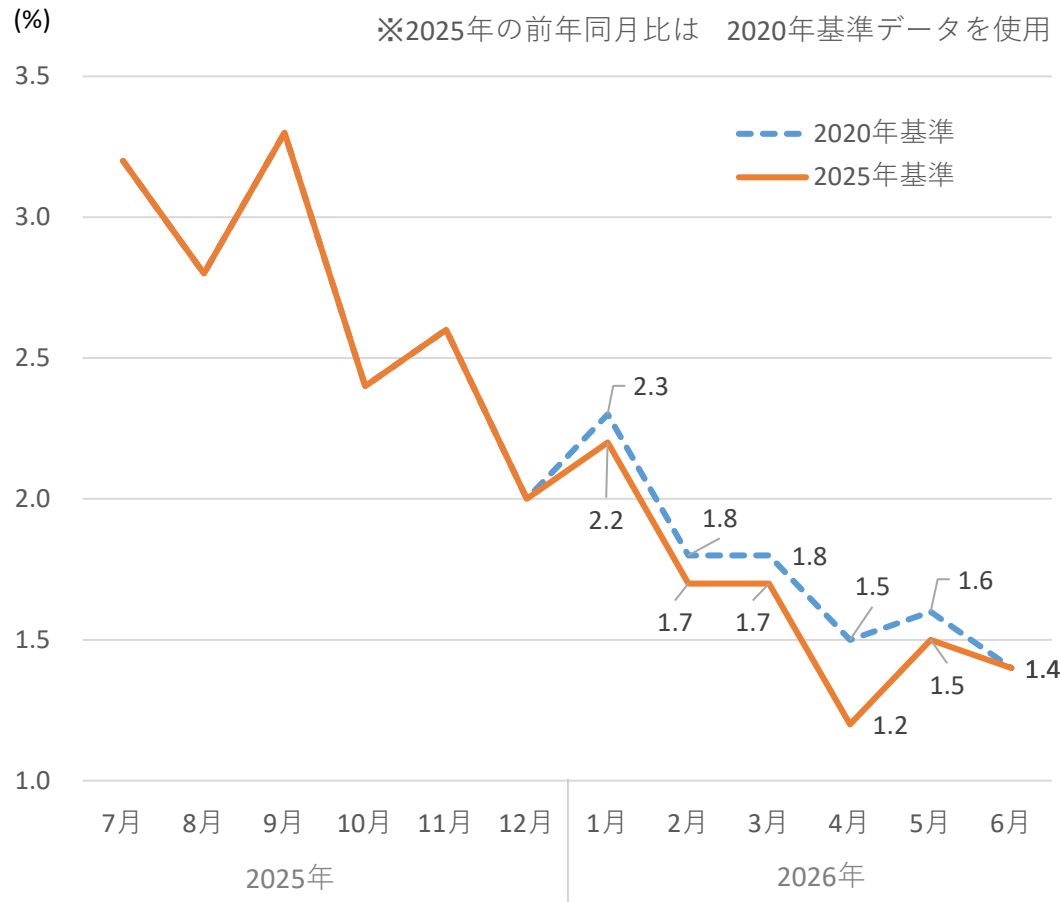
- 👉 一部の品目で用いている**算出するモデルケース**（典型的な利用パターン）等を改定

注1) 統合品目(2品目→1品目)あり

2025年基準改定について②

- ・ 基準改定の結果、大阪市の**生鮮食品を除く総合指数**は前年同月比で一部を除き**下方改定**
- ・ 下方改定の主な要因は、ウエイトの変更、基準年変更など

生鮮食品を除く総合指数（前年同月比）[大阪市分]



新旧基準で寄与度に 差がある主な品目（2026年6月）

品目	寄与度※1		新旧基準の 寄与度差※2
	2025年基準	2020年基準	
通信料（携帯電話）	0.12	0.07	0.05
弁当B	0.03	0.07	-0.04
焼き魚	0.01	0.05	-0.04
宿泊料	0.02	0.05	-0.03

※1：各基準の総合指数の前年同月比に対する寄与度

※2：2025年基準－2020年基準（単位はポイント）